

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	19	学校名	青翔中学校・青翔高等学校
----	----	-----	--------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	イルミネーション点灯式
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「総合的な探究の時間」や、学校設定科目「統合科学」で、地域の課題を発見するとともに、その解決方法を探究する。
連携・協働相手	御所市企画制作部および近隣の自治会の方々
地域と共有している目標・課題等	イルミネーション点灯式をもとに地域と学校の連携の強化や活性化をすすめる。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>1学期には、御所市企画制作部の方に講演をいただき、御所市の現状と課題について学んだ後、具体的な課題を設定し、グループをつくって探究の計画を立てた。2学期には、調査・分析を行い、課題解決に向けて探究活動をすすめ、PPT（各グループが作成したパワーポイント資料）を用いて、御所市アザレアホールにて発表した。</p> <p>11月には、生徒会と吹奏楽部が中心となり、「イルミネーション点灯式」を企画した。点灯式では、「地域と共にある学校づくり」の実現を目的として、PPTを壁面に投影し、近隣の方を来賓として出席いただいた。点灯式後も、12月初めまで、夕方にはイルミネーションを点灯し、近隣地域の方々に随時見てもらうことができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>生徒は、探究活動に熱心に取り組み、本校の教育目標である生徒に育みたい3つの力、即ち、①課題発見・解決・設定に必要な「創造的思考力」、②科学的根拠に基づいた「総合的判断力」、③多様な考え方を尊重しチームで協働する「コミュニケーション力」の育成をすすめることができた。担当した生徒は、点灯式の企画にあたって、イルミネーションのデザイン設計、吹奏楽部の演奏とコラボした進行案の提案、PPTの壁面への投影方法の工夫、スポットライトの効果的な使用など、豊かな発想力をもってそれぞれを進めることができた。何よりも、自分たちで作り上げていくことの充実感を楽しんでいる様子が見られたことが、素晴らしかった。点灯式の様子は、新聞報道されたので、地域の方にも注目していただけた。</p> <p>無理なく自然に連携を深めていくことが、よりよい学校づくりにつながると考えられるので、今後は特別な場面だけでなく、日常的に地域と関わりを持つことで、取組をすすめていきたい。</p>

